

1 主に使用する資料

小室家6369-16 「太閤秀吉黒船大阪凱征之図」



歌川貞秀の浮世絵です。1864（元治元）年に刊行されました。当時、将軍家を描くことが禁じられていたため、別の人物に見立てて描かれました。このような絵は、「見立て絵」と呼ばれ、民衆にも人気がありました。



2 指導例

(1) 本時のねらい

- 資料の読み取りを通して、資料読み取りの視点や方法を身に付けるとともに、資料を読み取ることの良さや楽しさを実感させる。
- 学芸員の解説を通して、資料の内容や資料が描かれた時代背景、資料読み取りの意義への理解を深める。

(2) 展開

学習活動・学習内容	○指導上の留意点	資料等
1 文書館について知る ・文書館の紹介を聞くこと	○スライドを提示しながら、文書館の役割や収蔵資料について簡潔に紹介する。	・文書館紹介スライド
2 本時の学習内容を説明する 文書館の収蔵資料を使って、資料読み取りのポイントを知ろう。		
3 資料を読み取る ・資料を読み取ること ・個人で読み取った後、意見交換すること	○資料を見る視点が分かると、資料の内容や背景までより深く読み取ることが出来ることを伝える。 ○資料名をふせて、資料のスライド提示をする。 ○どんなことでも見つけたことがあったらノートにかき出すように伝える。 ○生徒が読み取った内容を発表させる。	・小室家6369-16「太閤秀吉黒船大阪凱征之

 <p>・学芸員から資料読み取りのポイントを聞くこと</p> <p>4 見立て絵が描かれる時代背景を考える ・異なる時代のものが、同じ絵の中に描かれている理由を考え、意見交換をすること ・学芸員の解説を聞くこと</p> <p>5 まとめ・振り返り ・本時の授業を振り返り、アンケート用紙に書くこと</p>	<p>発表内容を黒板に書きだしながら、スライドで確認する。</p> <p>○学芸員は、資料を読み取る時のポイントを解説する。 ○資料名から時代の異なる豊臣秀吉が黒船に乗っていることに気づかせ、生徒に問題意識を持たせる。 ○学芸員は、資料が「見立て絵」と呼ばれる絵であることを伝える。 ○意見交換の後、このような絵が描かれた時代背景を解説する。</p>  <p>○資料を読み取る時のポイントや学んだことを記入させる。</p>	<p>図」</p> <p>・アンケート用紙</p>
---	--	---------------------------

3 生徒の感想

- 資料を読み取る際には、その資料の違和感に気づいたり、時代背景をよく考えたりすることが重要なのだと思いました。
- 絵から歴史の深さなどを知れて興味深いものがありました。歴史をもっと知っていたら楽しかったのかなと思いました。
- 資料一つだけで、本当に多くのことを知ることができるんだなと思い、とてもわくわくして興味深かったです。

4 担当より

- 本指導例は、高等学校学習指導要領地理歴史第4 日本史探究の内容Cに関連して構成したものです。
- 資料読み取りの興味を高めることをねらいとしているため、単元から独立した内容として実施することができます。
- 同年代の見立て絵として、「小室家6369-15 建久元年源頼朝卿上京行粧之図」(右図)があります。
- 資料の差し替え、または、資料を二つ使って読み取りを深めるということも可能です。学校等支援担当に御相談下さい。

